

モーターヘッド MOTORHEAD WHEELBOOK II

ホイールブックII



イケてる車輪、
二〇一五。
ホイール

The Latest Fashion of Automotive Wheels

掲載モデル
約**370**本
世界最新情報
完全網羅!!

カッコイイ。

LOVE SUV

を組み合わせることで、デザインを強調するようなルックスとなり、24インチの大口径も手伝って、クルマが持つ力強さに更に磨きをかけた印象に仕上がっている。

G350に装着されているHF-C10はブラッシュド加工の上からキャンディゴールドを塗装した特注仕上げ。ブラッシュド処理は均一でムラのない仕上がりだし、アルミ肌の上に施されたキャンディゴールドの塗装も金属感を引き出す絶妙な風合いだ。これだけ高いクオリティだからこそ、ホワイトボディにゴールドという珍しい色の組み合わせでも、違和感なくマッチしているのだろう。

つまり、どちらもホイールにも一分の隙も見られないのである。仕上がりが完璧だからこそ、装着時の“立ち姿”も整ったものになり、このクオリティの積み重ねが信頼へと繋がり、時を経て定番へと昇華する。

そう。長寿モデルという存在には、なにかしら支持される理由があるものなのだ。『1』

HYPERRFORCED

HF-C7



X Range Rover Sport

HF-C7

Size: 19×7.5J~24×12J
Price: ¥122,000~¥366,000

国内シーンにいち早く“コンケーブ”の衝撃をもたらした人気モデル、HF-C7。すでに不朽の名作の域にまで支持を集めるその存在であるが、同時に今にしてなお斬新にも目に映る。こちらのレンジスポーツは車高を40mmダウンさせた状態で24×10Jを履く。

Text & Photo : 石井健之 Takeshi Ishii

相も変わらず、

ハ イパーフォージドの定番モデルとなっているHF-C7、そしてHF-C10。これらが永らく支持を集めている理由は、最新モデルの足元に履いても色あせないデザインはもちろんのこと、なによりそこに確かなクオリティが内包されているからであろう。

ディスク素材はA6061と呼ばれる高強度アルミニウム。これを8000tもの圧力をかけられるプレス機を使って鍛造成形し、マシニングによって精密にディスクデザインを削り出していく。ここまでは一般的な鍛造ホイールとさして工程は変わらないかもしれない。しかし、確かな“差”を生み出すのがフィニッシュだ。

レンジローバースポーツに装着されているHF-C7は、ディスク部分にショットアナダイズドブラックという特殊な仕上げを施している。梨地肌のような微細な凹凸のある表面なのだが、この仕上がりが均一で実に美しい。凹凸が故の風合いあるディスクに、マットブラックリム

HYPHER FORGED

HF-C10

X Mercedes-benz G-class



HF-C10

Size: 19x7.5J~22x14J
Price: ¥121,000~¥316,000

ミニマリズム際立つHF-C10ながらも、ブラッシュド処理を施した上に特注色のキャンディゴールドを塗装するという一手間が独創的な個性を演出する。10.5Jというリム幅で可能な限りディープリムになるようセッティングされているのも特徴的だといえる。